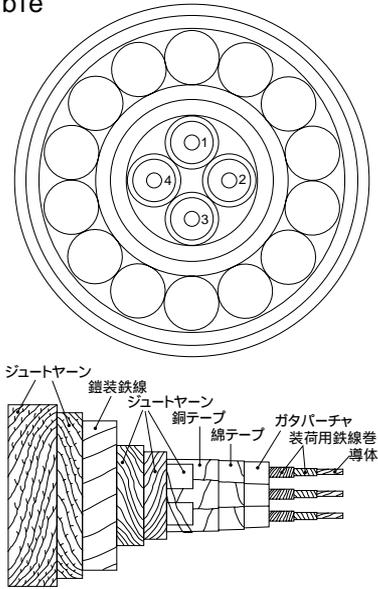


4心入平等装荷ガタパーチャ海底ケーブル

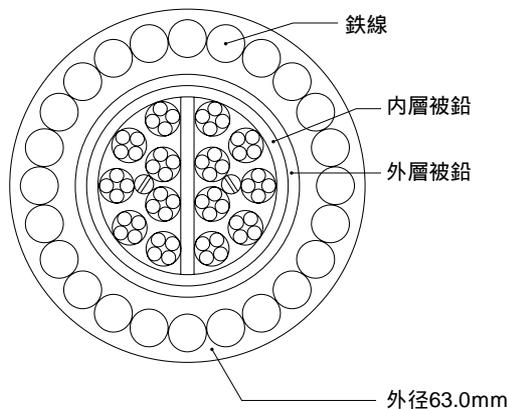
4 cores uniform loading gutta-percha submarine cable



電信から出発した海底ケーブルだが、電話の需要が増えて品質の良い音声伝送が求められるようになる。1922年に海底伝送用に開発された平等装荷ケーブルは、陸上方式のように装荷コイルを分散配置せず、銅の心線に鉄線を巻き付けてインダクタンスを増すものであった。

28対搬送鉛被紙海底ケーブル

28 pair carrier lead sheathed paper in insulated submarine cable



無装荷方式によって1938年に開通した東京-奉天(現在の瀋陽)間の長距離多重伝送路では、小野田 苅田、福岡 釜山が海底区間である。使用されたのは紙絶縁の鉛被ケーブル。鉛被は、強度を増せば重くなり敷設作業を難しくした。